

平成28年度「中学校トップスポーツ競技育成事業」
選考結果について

平成28年度「中学校トップスポーツ競技育成事業」
選考結果について

体育学校安全課

1 事業の概要

中学校において、「中学校トップスポーツ競技」として競技専門部を指定し、全国大会で活躍できる競技者を育成する。また、高校の「徳島トップスポーツ校育成事業」と連携し、中学校での強化活動を高校へつなげることで、本県の競技力の向上を中・長期的な展望に立って、計画的・継続的に推進する。

平成28年度「中学校トップスポーツ競技育成事業」の選考委員会を徳島県中学校体育連盟会長 矢野謙作会長を委員長とする12名の選考委員により実施し、中学校体育連盟18競技のうち7競技の専門部長より提出された「申請書」と「プレゼンテーション」による選考審査を行った。

2 選考委員会

(1)開催日

平成28年6月10日（金）

(2)評価の観点

- ①指定を受けようとする理由
- ②強化計画
- ③競技団体との連携及び競技団体からの支援
- ④事業に期待する効果

(3)選考委員会の結果

選考委員会において、今年度は、昨年度からの継続としての「陸上競技」「新体操」「柔道」「弓道」「卓球」「バレーボール」に加え、「ソフトボール」を追加した7競技専門部を決定した。

競技専門部	指 定 理 由
陸上競技	全国での入賞者数も顕著であり、県陸上競技協会と連携した強化方針や活動計画もしっかりと示されていた。毎年の活動報告も計画にそった報告がきちんとできていた。
新体操	全国大会での実績が継続できている。特に県内高校との連携が図れており、活躍した選手が高校へつながっている。県連盟・クラブチーム・学校の連携が良好であり、今後も全国上位の競技成績が期待できる。
柔道	毎年のように全国大会で活躍する選手が続いている。県内での強化選手を対象としての強化策が計画されており、県柔道連盟との連携や支援がきちんとできている。

弓 道	毎年全国規模の大会で活躍する選手が続いている。競技団体からも大きな支援を受けており、バックアップ体制が整っている。
卓 球	事業計画や強化計画が明確に示されている。また、競技団体との連携も良好で支援体制が整っている。
バレーボール	指定を受けようとする理由や毎年の強化策としての事業計画が明確である。また、事業に対する意欲や熱意が十分感じられる。
ソフトボール	競技人口の少ない中、近年の全国大会での活躍は、目覚ましいものがある。県ソフトボール協会との連携がなされており、計画的な強化策が行われている。高校との連携が行われており、今後も活躍が期待される。

3 平成28年度指定競技

陸上競技，新体操，柔道，弓道，卓球，バレーボール，ソフトボール